



SKK
SUPERIOR
COATINGS

WOOD FRESH SANDING SEALER

ウッドフレッシュサンディングシーラー

水性内装木部用シーラー

ホルムアルデヒド
放散等級
F★★★★

内装の木部着色仕上用として、安全に使用できる環境配慮型の着色仕上げ用のシーラーです。

特長

溶剤形塗料などに見られる中毒や火災の心配のない安全で環境に優しい塗料です。また、ホルムアルデヒド放散等級は居室に無制限に使用できるFであり、厚生労働省でシックハウスの原因物質として考えられている室内環境指針13物質（ホルムアルデヒドをはじめ、トルエン、キシレンなど）を含んでいません。

特殊設計により、かびなどの微生物汚染に対して強い抵抗性を示し、長期にわたり衛生的な室内環境を維持します。

適用下地

新設木部：スギ、マツ、ツゲ、ラワン、シナ等の針葉樹や広葉樹

旧塗膜：ラッカー、カシュー樹脂塗料、セラックニス、油性ステイン、水性クリヤー塗料、水性ステイン等（注：旧塗膜は研磨紙ずりが必要です。）

用途

巾木、廻り縁、内壁、手摺り、内装ドア、ドア枠などの内装木部

荷姿

ウッドフレッシュサンディングシーラー	15kg 石油缶（標準塗坪：107～125 m ² /缶） 4kg 缶（標準塗坪：29～33 m ² /缶）
エコフレッシュ、エコフレッシュクリーン	16kg 石油缶（標準塗坪：53～64 m ² /缶） 4kg 缶（標準塗坪：13～16 m ² /缶）

上記の標準塗坪は一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

《危険情報と安全対策》

製品の取り扱いには、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。

標準施工仕様

下地の問題点と処理方法

下 地		問 題 点	処 理 方 法
新規	スギ、マツ、ツガ、ラワン、シナ等	含水率	よく乾燥させ、含水率は18%以下としてください。
		汚れ、付着物	スクレーパーによる除去、清水またはシンナーによる拭き取りを行ってください。
		ヤニ	削り取った後、溶剤等でよく拭き取り、十分に乾燥させてSK水性ヤニ止めシーラーを標準仕様に従い塗付してください。
		かな目、逆目、けば	研磨紙 P120～220 で研磨紙ずりし、全面を平らにしてください。
改修	旧塗膜(ラッカー、カシュー樹脂塗料、セラックニス、油性ステイン、水性クリヤー塗料、水性ステイン等)	汚れ、付着物	清水、中性洗剤、またはシンナーによる拭き取りを行ってください。
		ヤニ	削り取った後、溶剤等でよく拭き取り、十分に乾燥させてSK水性ヤニ止めシーラーを標準仕様に従い塗付してください。
		付着性	研磨紙 P400 で研磨紙ずりしてください。下地の旧塗膜の種類がはっきりしない場合は、試し塗りをを行い、付着性を確認してください。

<着色仕上げ>

(23)

工程	材 料	調 合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (h r)			備 考
					工程内	工程間	最終養生	
下地調整	・前記新規/改修下地の問題点と処理方法に従って、適切に下地調整を行なってください。							
1	ウッドフレッシュ サンディングシーラー	100	0.12~0.14	1		2 以上		刷毛
	清 水	10~20						
(研磨紙ずり)	・研磨紙 P220～400 で、けば等を研磨紙ずりし、平滑にしてください。					3 以上		
2	エコフレッシュクリーン / エコフレッシュ	100	0.25~0.30	2	2 以上	24 以上		ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量：600～1000ml/分 パターン幅：25～30 cm
	清 水	0~15						

研磨工程は必要に応じ、適宜、実施してください。

【施工条件】

材料の取扱い

- 施工前に必要数量を確認してください。
- 施工前には材料の色番号、ロット番号等の確認等を行ってください。
- 材料の保管は雨がかり、湿気を避け、できるだけ冷暗所にて行い、高温下や0 以下での保管や、開封したままの放置はしないでください。
- 材料を混合して使用しないでください。
- 木質系下地の種類によっては、塗装することにより濡れ色や色むら、塗り継ぎムラが発生することがあります。必ず試験塗りをを行い、仕上がりを確認してから本施工に入ってください。

塗装準備、養生

- 下地は適切に施工されているか、下地処理に問題がないか確認してください。また施工前には十分に清掃しておいてください。
- 改修仕様の際、下地の旧塗膜の種類がはっきりしない場合は、試し塗りをを行い付着性と仕上がりを確認してください。
- 施工部位を確認し、養生が適切に行われているか確認してください。
- ローラー塗装は泡かみを生じ、仕上がりに影響を与えますので、塗装器具は刷毛としてください。
- 作業衣、防具等の安全衛生面に問題ないか確認してください。

気象条件、乾燥条件

- 気温が5 以下・湿度85%以上のときは、原則的に施工を避けてください。やむを得ず施工を行う場合は、採暖等により、露点気温度・被塗面温度を5 以上にしてください。
- 冬期または多湿な場合には乾燥が遅くなりますので、換気、通気をよくし、できるだけ乾燥促進に努めてください。
- 夜間の気温が0 以下になることが予想される場合は、できるだけ日中の早い時期に施工を終了するようにし、乾燥時間が取れるように努めてください。
- 厳冬期には下地が凍結する場合があります、そのまま施工すると密着不良を起こす恐れがありますので避けてください。

施工上の注意点

- 1) 所要量、及び間隔時間は気象条件、基材の種類、形状、塗装方法によって変化します。
- 2) 作業を中断する際は、刷毛を水、または製品中に浸してください。使用後の刷毛は、乾かないうちに水で良く洗浄してください。刷毛が乾いてしまった場合には、ラッカーシンナーで洗浄してください。
- 3) 以下に記載した施工場所や部位（下地）には施工できません。ご注意ください。
台所、洗面所など水まわりのある周辺部位
常時高湿度が予想される、または結露しやすい場所、部位
床面
雨がかりのある場所、部位
長期間直射日光が当たる場所では、変色、退色する可能性がありますので、カーテン、ブラインド等で日除けをしてください。

性能試験成績表

JIS K 5663 附属書 合成樹脂エマルジョンシーラーに準じた物性試験結果

試験項目	結果	規定
容器の中での状態	合格	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする。
塗装作業性	合格	塗装作業に支障があってはならない。
塗膜の外観	合格	塗膜の外観が正常であるものとする。
低温安定性	合格	-5 に冷やしたとき変質してはならない。
低温造膜性	合格	5 で塗膜形成に異常があってはならない。
上塗り適合性	合格	上塗りに支障があってはならない。
耐水性	合格	水に 96 時間浸漬したとき異常があってはならない。
耐アルカリ性	合格	水酸化カルシウムの飽和溶液に 48 時間浸漬したとき異常があってはならない。

その他の物性試験結果

試験項目	結果	規定
研磨容易性	合格	空研ぎのときに研磨が容易であること。